心理専門職による子ども・子育て支援

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。<承認期間:2022 年 7 月 2 日~2027 年 7 月 1 日 承認番号:20210392>

期　　日 ： 2025 年 11 月 1 日（土）・2 日（日）

受講対象 ： 公認心理師・臨床心理士・臨床発達心理士などの資格を持つ方で、特に子育て支援や保育カウンセリングに関心をもつ心理専門職、保育士・幼稚園教諭、行政担当者、大学院生、ボランティアなど

定　　員 ： 60 名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください。先着順となります。）

受 講 料 ： 15,000 円（税込み）

主　　催 ： 公益財団法人 明治安田こころの健康財団　TEL 03-3986-7021

会　　場 ： 明治安田こころの健康財団 講義室　※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

＊＊講師＊＊
塩﨑 尚美 先生 ： 日本女子大学 教授、公認心理師、臨床心理士
姜　英愛 先生 ： クリニックおぐら、公認心理師、臨床心理士
嶋野 珠生 先生 ： 富山短期大学 教授、公認心理師、臨床心理士
福丸 由佳 先生 ： 白梅学園大学 教授、公認心理師、臨床心理士　※登壇順

子ども家庭庁発足から 2 年、子どもが安心して育つことのできる社会を目指して、さまざまな制度が整えられてきました。しかし、「子育て支援」「地域支援体制」の内実はいまだ十分とは言えない現状にあります。実際にどのような支援を行うべきなのか、支援を担う人材はどのように育成すればいいのか、といった問題は、各自治体に任せられており、それぞれ手探りで支援体制づくりを行っています。こうした中で、心理専門職（臨床心理士・公認心理師）に何ができるのか、どのような役割を果たすべきなのかを明らかにし、それを示していくことが重要な課題になっていると思います。また、多様な方法を用いて子育て支援の実践に携わる心理専門職同士が、互いの活動を理解し、情報を共有しあうことで、それぞれの実践を有機的に統合し、連携に生かすことも重要です。

本講座では、心理専門職が実践している、専門性の高いプログラムや実践を紹介し、それぞれの実践からともに学び合い、さらにそれらの実践に共通するエッセンスを理解し合うことで、これからの子ども・子育て支援に何が必要なのかを考えたいと思います。

【企画講師:塩﨑 尚美】

<プログラム>

※時間割・テーマ等は変更となる場合があります。予めご了承ください。

日程	時　間	テ　ー　マ	講 師（敬称略）
11月1日（土）	13:00~14:30	今日の子ども・子育て支援の課題と心理専門職の役割	塩﨑　尚美
	14:45~16:15	親子の情緒的応答性（Emotional Availability）の理解と支援：クリニックでの介入を例に	姜　英愛
	16:30~17:00	質疑応答	
11月2日（日）	10:30~12:00	里親家庭で育つ子どもと里親に心理士として何ができるか：ファミリーホームへの心理支援を中心に	嶋野　珠生
	12:00~13:00	～　昼　食　～（各自お取りください）	
	13:00~14:30	離婚という家族の移行期を経験する子どもと親へのサポート	福丸　由佳
	14:45~17:00	グループディスカッションと講師とのシェアリング	講師陣による